

## 第2回 久留米市入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成25年3月19日（火） 14:30～16:00 久留米市本庁舎13階 1301会議室	
出席委員名	宗岡 嗣郎（久留米大学法学部法律学科教授）（委員長） 柿本 眞左子（久留米商工会議所税務相談所長）（副委員長） 濱崎 裕子（久留米大学文学部社会福祉学科教授）	
議事対象期間	平成24年8月1日～平成25年1月31日	
抽出案件	（備考）	
一般競争入札	3件	抽出案件については、委員3名により任意に抽出されたもの
議事	1 入札・契約状況報告 2 入札参加資格・指名理由等の審議	
委員からの質問及び質問への回答	意見及び質問	意見及び質問への回答
	<b>1. 入札・契約状況報告</b>	
	（3）談合情報の取り扱いについて	
	1. 談合情報により、無効になった案件は、再入札になるのか。	1. 業者を入れ替えたうえで、再入札になる。
	<b>2. 入札参加資格・指名理由等の審議</b>	
	（1）久留米競輪場大型映像装置改修工事	
	（案件のポイント）	技術的な理由により市内業者で施工が難しいため、市外業者を対象とした案件
	1. 工事の内容はどのようなものであったか。  2. 特殊技術のため、6者しか実績のある業者がないとのことだが、対象業者が41者となっているのは、なぜか。	1. 以前から一部画像が出ないなどの故障が見られた大型映像モニターについて、ファンサービスのために映像パネルを取替える工事である。観客席から試合の様様や結果を確認できる。以前設置したときよりも技術が進歩し、より解像度が高い映像となっている。  2. 41者とは、9月5日時点の久留米市の入札参加資格のある電気工事Aランクの業者数であり、実績を考慮したものではないため。実績を考慮すると、対象業者は6者となる。

第7号様式（第10条関係）

委員からの質問及び質問への回答	(2) (特環) 公共下水道管渠布設第1工区工事	
	(案件のポイント)	落札率が高く、かつ応札業者が少ない案件
	1. 入札参加業者は、工事場所の近辺の業者か。	1. その通りである。案件によっては入札参加者に地域性が見られる。市として地域を限定して、入札を行っているわけではない。
	2. 総合評価における評価点で、手持ち工事量の評価はどのようなになっているのか。	2. 手持ち工事が少ない業者ほど評価が高くなっている。受注が少ない業者が工事を受けられるように、配慮している。
	3. 落札した業者の技術者の評価が低い、なぜか。	3. 条件付一般競争入札の総合評価方式における評価は、簡易な施工計画（簡易型のみ）・企業の施工能力・配置予定技術者など13の項目に分かれている。そのうち、配置予定技術者の評価項目に、過去5年における工事成績評定がある。今回落札した業者はこの工事の評定が低かったが、その理由は、他の工事において、先に評価の高い技術者を配置した結果、評価が低い技術者しか残っていなかった、もしくは経験が浅い技術者に経験を積ませる目的で、評価が低い技術者をあえて配置させたなどの理由が考えられる。
	(3) 南筑高等学校特別教室棟（B工区）外壁改修工事	
	(案件のポイント)	談合情報のため、入札無効とした案件の再発注で、市外業者を対象とした案件
	1. 当初の入札も、再入札でも抽選であったか。	1. 再入札では、参加10者のうち9者が同額のため、抽選により、落札者を決定した。落札率は予定価格の90.00%で、最低制限価格であった。しかし、当初の入札における最低価格の応札率は、予定価格の95.79%であった。  納税者の立場では、一定の品質が確保されている以上、価格は低いほうがよい。市外業者を入札に参加させると市内業者のみの場合に比べて、競争性が増し、落札率が低下するならば、すべての案件を市外に発注すれば良いという考え方もあるが、現在久留米市においては、地場企業の育成と地域経済の振興を政策としているため、地場への発注を原則としている。